

HSP 135 ファンキャニスタの 交換

目次

.....	3
ファンキャニスタの交換: NetBackup 5330 アプライアンス	3
目的	3
影響のあるモデル	3
オンサイトのポリシーと手順	5
電気の安全性	5
ハードウェア部品の交換手順	6

ファンキャニスタの交換: NetBackup 5330 アプライアンス

ドキュメント番号: 135

バージョン: 3.0 (15/03/10)

目的

このドキュメントでは、NetBackup 5330 プライマリストレージシェルフまたは拡張ストレージシェルフ内のファンキャニスタの交換手順について説明します。

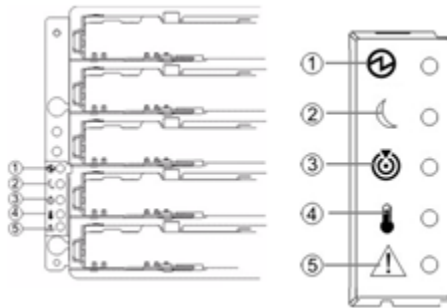
影響のあるモデル

Veritas NetBackup 5330 アプライアンスストレージシェルフ

NetBackup 5330 アプライアンスのプライマリストレージシェルフと拡張ストレージシェルフにはそれぞれ、60 台の SAS ハードディスクドライブが搭載されています。プライマリストレージシェルフと拡張ストレージシェルフの前面には、5 つのドロワーがあり、一番上から順に 1 から 5 までの番号が付いています。各ドロワーには 12 のディスクドライブが含まれ、左上から順に 1 から 12 までの番号が付いています。次の図に示すとおり、前面パネルは物理的、機能的に両方のシステムで同じです。



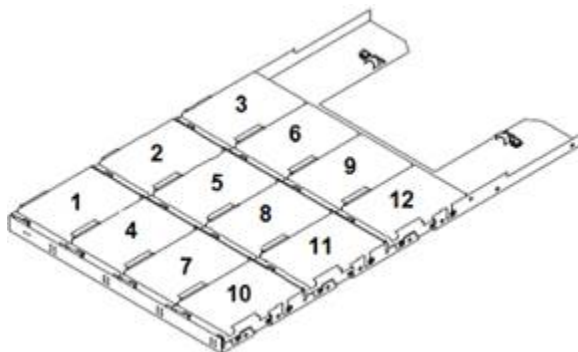
次の図は、前面パネルの LED を示しています。この表は、コンポーネントを示しています。



次の表は、LED ステータスの意味を示しています。

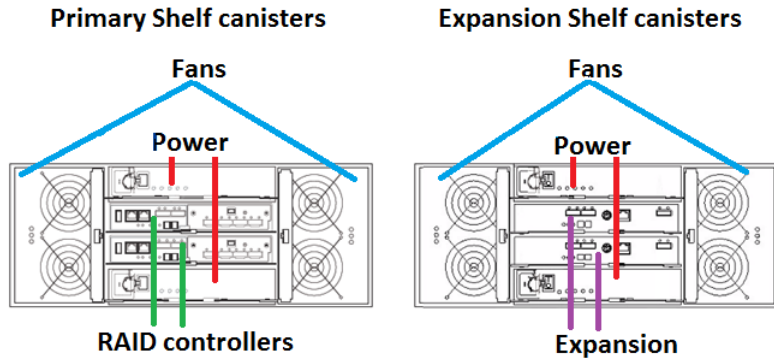
Number	Definition	Color
1	Power LED	Green
2	Standby LED	Green
3	Locate LED	White
4	Over-temperature LED	Amber
5	Service Action Required LED	Amber

ストレージシェルフの各ドロワーには 12 のディスク用スロットがあります。ディスクには、次の図のように番号が付いています。



両方のディスクシステムの背面パネルには、3種類のキャニスタが備わっています。

- RAID キャニスタまたは拡張キャニスタ
- AC 電源キャニスタ (AC 220 V)
- ファンキャニスタ



各ストレージシステムには、背面パネルの右側と左側に2つのファンキャニスタが付いています。

ファイバーチャネル (FC) ケーブルがプライマリシェルフとアプライアンスを接続します。

4つの SAS ケーブルが拡張シェルフとプライマリシェルフを接続します。拡張シェルフはアプライアンスに直接接続されません。

オンサイトのポリシーと手順

電気の安全性

人体から出る静電気で基板上の静電気に弱い部品が損傷する可能性があります。装置の設置やメンテナンスを行うときは、怪我やデバイスの損傷を防ぐために、適切な静電気安全注意事項を遵守してください。

デバイスの静電気に弱い部分を取り扱う際には、静電放電 (ESD) 防護手段を講じる必要があります。この防護手段には、人身傷害やデバイスの損傷を避けるために身につける ESD を防止する手袋、リストストラップ、衣服などが含まれます。

デバイスを損傷から守るには、操作中に次の点に注意してください。

- デバイスを素手で触らないでください。人体からの静電放電によって基板上の静電気に弱い部品が損傷する可能性があります。
- サーバーや内部コンポーネントを取り扱う際には、ESD を防止するリストストラップや手袋、スーツを身につけてください。

ハードウェア部品の交換手順

ファンキャニスタの取り外しと交換

NetBackup 5330 プライマリシェルフまたは拡張シェルフ内のファンキャニスタを交換するには、帯電防止保護と交換用ファンキャニスタを用意する必要があります。

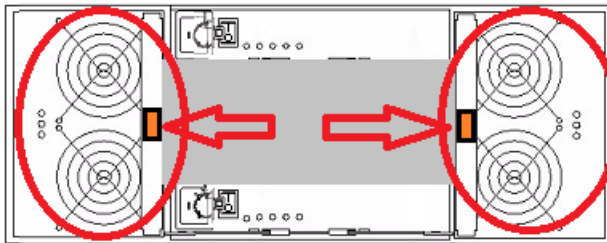
警告: 電源が入った状態でこの手順を実行する場合は、機器のオーバーヒートを避けるため、15分以内に操作を完了させる必要があります。

両方のファンキャニスタを同時にストレージシェルフから取り外さないでください。1つのファンキャニスタが常時作動している必要があります。

注意: 静電放電による損傷を防ぐため、コンポーネントを扱うときには、適切な帯電防止保護を行うようにしてください。

ファンキャニスタの位置

両方のストレージシェルフ用のファンキャニスタは、どちらもシェルフの背面パネルに位置します。シェルフの右側と左側に1つずつキャニスタがあります。各キャニスタに、ストレージシェルフのシャーシからキャニスタを取り外すためのオレンジ色のタブが付いています。交換用ファンキャニスタのオレンジ色のタブが新しいキャニスタを固定します。



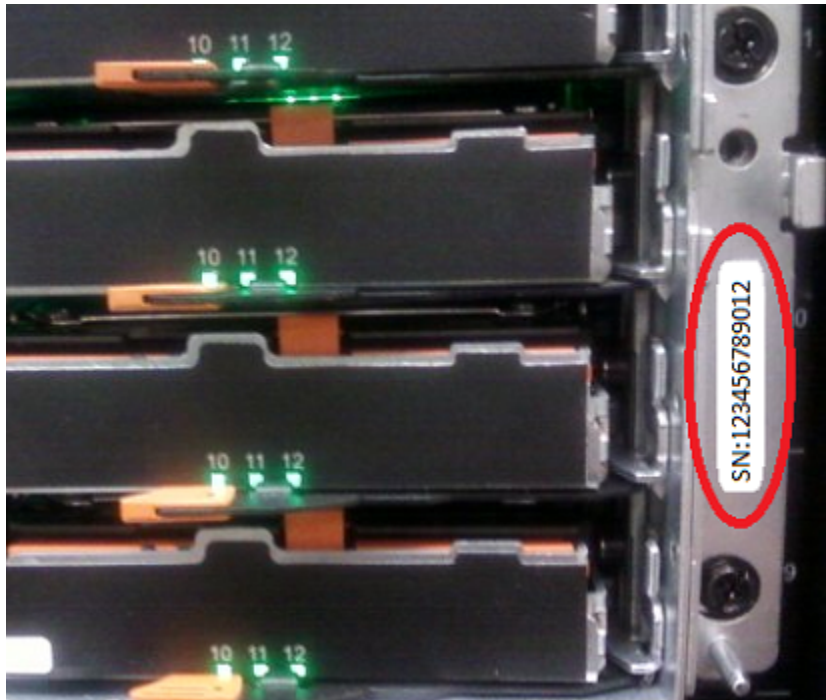
ファンキャニスタを取り外すには

警告: 電源が入った状態でこの手順を実行する場合は、機器のオーバーヒートを避けるため、15分以内に操作を完了させる必要があります。両方のキャニスタを同時にストレージシェルフから取り外さないでください。1つのキャニスタが常時作動している必要があります。

- 1 次の手順で、不良ファンキャニスタのあるストレージシェルフを見つけます。
 - 故障したコンポーネントのあるユニットまでお客様に案内してもらいます。作業指示書にアプライアンスのシリアル番号が記載されてある場合、その指示書上のシ

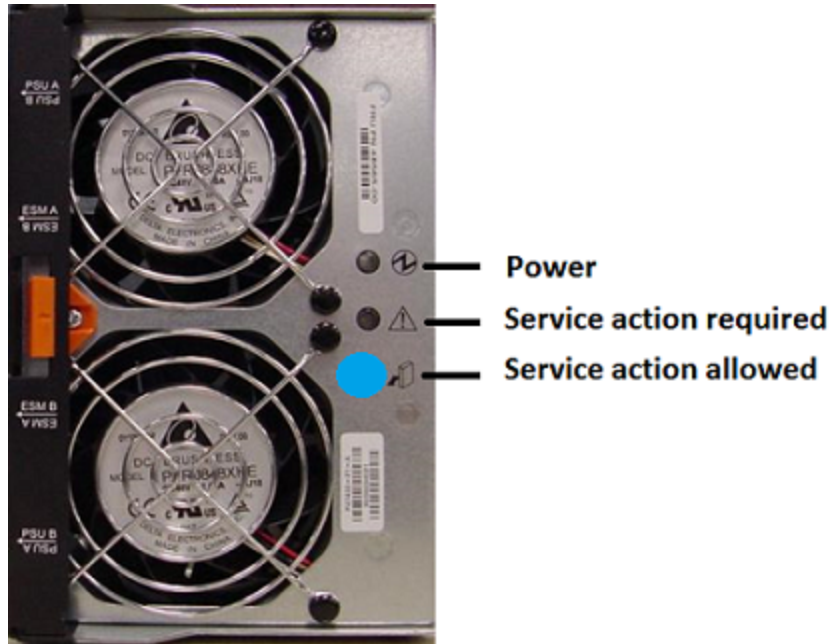
リアル番号が、ストレージシェルフが接続しているアプライアンス上に記されているシリアル番号と一致していることを確認します。アプライアンスとストレージシェルフのシリアル番号を記録します。

- 作業指示書
 - アプライアンス
 - ストレージシェルフ
- **NetBackup 5330** プライマリストレージシェルフまたは拡張ストレージシェルフでは、シリアル番号は、シェルフ前面の右下隅にあるラベルに記されています。



- 2 影響を受けているキャニスタでサービスを開始する前に、そのコンポーネントがサービス処理可能モードになっていることを確認します。

サービス処理可能 LED が青になっていることを確認します。各キャニスタにはこれらの LED が 1 つ付いています。必ず、青の LED が付いているキャニスタで作業するようにしてください。ファンサービス処理必須 LED をチェックして、エラーが発生しているファンキャニスタを特定します。



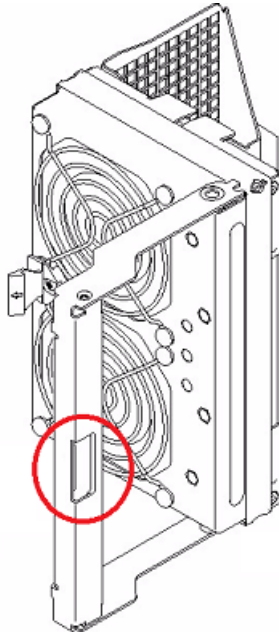
- 3 サービス処理可能 LED が青になっていない場合、アプライアンスのシェルメニューにアクセスしてください。

Support > ServiceAllowed コマンドを使って、青のライトを点灯できます。ライトを点灯できない場合、ベリタスのテクニカルサポートにこの問題を報告してください。

警告: 電源が入った状態でこの手順を実行する場合は、機器のオーバーヒートを避けるため、15 分以内に操作を完了させる必要があります。

両方のキャニスタを同時にストレージシェルフから取り外さないでください。1 つのキャニスタが常時作動している必要があります。

- 4 ファンキャニスタのオレンジ色のタブを、背面パネル中央に向かって押します。
- 5 キャニスタ全体が外れるまで、ファンキャニスタのハンドルを手前に引きます。



ファンキャニスタを取り付けるには

- 1 ファンキャニスタのオレンジ色のタブがカチッという音をするまで、ストレージシェルフの奥まで交換用ファンキャニスタをスライドさせます。
- 2 新しいファンキャニスタのファン電源 LED とファンサービス処理必須 LED を確認します。
- 3 ファン電源 LED が消灯している、またはファンサービス処理必須 LED が点灯している場合は、ファンキャニスタが適切に取り付けられているかどうか確認する必要があります。必要に応じて、ファンキャニスタを取り付け直してください。
- 4 ファン電源 LED が点灯し、ファンサービス処理必須 LED が消灯している場合、交換手順は正常に完了しています。
- 5 ファン電源 LED が消灯し、ファンサービス処理必須 LED が点灯している場合、ベリタスのテクニカルサポートに問い合わせてください。